

# 芸閣

～図書館だより～

第3号  
2025年6月  
桐蔭図書館発行

芸閣...「うんかく」と読みます。  
書庫、書斎という意味です。  
(「芸」は書籍に挿む虫除けの香草)

## 雨の日は読書がおすすめ

雨が多いこの季節は読書がおすすめです。  
書名に「雨」がついている本を紹介します。

『この恋は世界でいちばん美しい雨』宇山佳佑 著

『雨の降る日は学校に行かない』相沢沙呼 著

『雨のことば辞典』倉嶋厚ほか 編著

『雨の日には……』相田みつを 著

『雨上がりの空に君を見つける』菊川あすか 著

憂鬱な天気も読書のパワーでしっとりと落ち着いた  
リラックスタイムに大変身！

## 図書館講座のお知らせ

日時 7月16日(水) 13時～14時30分(予定)

場所 桐蔭図書館

内容 POPを作ろう！

※前期図書委員さんは全員参加してください。

三者面談期間の午後ですので、面談を入れないように  
気をつけてください。

図書委員以外の方も参加できます。

(裏面に新しく入った本の  
紹介を載せています)

# 新しく入った本の紹介



『君が心をくれたから』 宇山佳佑 著 小学館

『C線上のアリア』 湊かなえ 著 朝日新聞出版

『工場』 小山田浩子 著 新潮社

『それいけ！平安部』 宮島未奈 著 小学館

『ガラスの海を渡る舟』 寺地はるな 著 PHP研究所

『天衣無縫』 織田作之助 著 KADOKAWA

『夢殿殺人事件』 小栗虫太郎 著 KADOKAWA

『人形館の殺人』 綾辻行人 著 講談社

『うたうおばけ』 くどうれいん 著 講談社

『赤ずきん、アラビアンナイトで死体と出会う。』 青柳碧人 著 双葉社

『5分後に意外な結末ベスト・セレクション 空の巻』 桃戸ハル 編著 講談社

『殺人事件に巻き込まれて走っている場合ではないメロス』 五条紀夫 著 KADOKAWA

『そして扉が閉ざされた』 岡嶋二人 著 講談社

『「好き」を言語化する技術 推しの素晴らしさを語りたいのに「やばい!」しかでてこない』

三宅香帆 著 ディスカヴァー・トゥエンティワン

『ボクと、正義と、アンパンマン』 やなせたかし 著 PHP研究所

『虚空教典』 剣持刀也 著 KADOKAWA

『ござる訓の「生きる」を助ける言葉』 カオリユカリ 著 かんき出版

『アホか。』 百田尚樹 著 新潮社

『カラスの親指』 道尾秀介 著 講談社

『にゃんこ関西弁辞典』 西川清史 著 飛鳥新社

『難問の多い料理店』 結城真一郎 著 集英社

『歴史で学ぶ思考法 現代社会を読み解き、令和を生き抜く勉強のコツ』

こうちゃん 著 KADOKAWA

『東大生が日本を100人の島に例えたら面白いほど経済がわかった!』

ムギタロー 著 サンクチュアリ出版

『アリエナイ医学事典』 亜留間次郎 著 三オブックス

『心ゆさぶる広告コピー その言葉は、あなたの人生とつながっている』

岩崎亜矢 著 バイインターナショナル

『タコのはなし その意外な素顔』 池田譲 著 成山堂書店

『中学校ワクワク飛び出すARを使った理科授業』 矢野充博 著 東洋館出版社

『多動脳』 アンデシュ・ハンセン 著 新潮社

『図解はじめての絵画』 青柳正規 監修 小学館

図書館員が書店に  
行って、本を選んで  
きました

